

事業所名：グループホームかたばたの里 ほほえみ

作成日：令和3年5月14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	夜間帯は1ユニット1名の勤務体制で緊急時の対応に不安がある。	緊急時の対応や連絡体制について全職員が周知できるよう努める。	緊急時のマニュアルに沿って落ち着いて行動できるようにする。	6ヶ月
2	47	排泄に失敗し、不穏や混乱が起きると汚染物を隠そうとする行為がある。	利用者の排泄パターンに合わせてトイレ誘導したり、パット確認の交換の声掛けをする。	利用者の情報を共有し、排泄パターンを把握する。排泄に失敗した場合でも本人の羞恥心・プライバシーに配慮し、自尊心を傷つける事なく支援する。	6ヶ月
3	53	コロナ感染対策の為外出できない。	本人の希望に沿って外出できる。	コロナ感染防止の為人混みの外出は出来ないが、ホームの遊歩道、季節ごとの短距離ドライブ等を行うことによって季節を感じていただいたり気晴らしになってくれたりしていただけたら良い。	12ヶ月
4	18	利用者本人の為にと思って取ったスタッフの行動がかえって介護への抵抗に繋がってしまう事がある。	利用者との関係を良好に保ち、本人に合ったケアを行なえるようになる。	その人の性格や現在の健康状態を把握し、それに沿って今後のケアを考え支え合える関係を築く。	12ヶ月
5	51	知識や経験が浅い職員もいるため完全に熟知しているとは思えない。	定期薬・それに伴う追加薬で不明な点があれば主治医・薬剤師から説明を求め情報を共有する。	情報を共有する上で薬の用途・用法・副作用をいつでも知る為個人カルテに薬剤情報を綴る。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。